

# 地域医療連携だより



## 競技レベルに応じた治療とスポーツリハビリテーションをご提供する**スポーツ整形外科**を開設しました

康生会武田病院は、今年、スポーツ整形外科（専門外来）を新たに開設し、スポーツ外傷や障害を抱えておられる患者さんを対象に診療を行っています。

またリハビリテーション施設の改修を行い、患者さんの競技レベルに応じた治療を提供できる環境も整備しました。京都駅前という利便性の高い立地を生かし、京都府立医科大学をはじめ周辺の医療施設とも緊密に連携を取りながら最善の治療を選択し、アスリートの健康増進ならびに競技レベルの向上に貢献していきたいと思っております。

### ■対象となる疾患

#### <スポーツ外傷>

脱臼、骨折、捻挫、靭帯損傷、肉離れなど

#### <スポーツ障害>

テニス肘、ランナー膝、足底筋膜炎、疲労骨折などの繰り返し動作で生じるもの

### ■対象となる種目

#### <スポーツ全般>

野球・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ラグビーなど、さまざまな種目の治療に当たっています

### 理念

- ・思いやりの心
- ・地域社会の信頼
- ・職員相互の信頼

### 基本方針

- ・ブリッジ・ザ・ギャップス
- ・患者さんの権利尊重
- ・信頼の医療に向けて
- ・地球にやさしい環境づくり

### 環境方針

- ・省資源・省エネルギーの推進
- ・廃棄物の3R  
(減らす、再使用、再資源化)の推進
- ・安全性・快適性の推進
- ・環境広報活動の推進



## 進学・進路に大きく影響する スポーツ外傷・スポーツ障害

「早く復帰したい」という  
患者さんの気持ちに寄り添い  
じっくりと話し合いながら  
最適な治療につなげていく

整形外科 市丸 昌平

スポーツ整形外科では、捻挫や骨折、靭帯の損傷、テニス肘やランナー膝など、スポーツに関連した「外傷」や「障害」を治療しています。

学生や社会人を問わず、スポーツ選手の治療は一般の場合と異なる点が多いです。通常なら保存療法を行う場合でも、手術と早期リハビリを選択し、1日でも早い復帰を目指すことが少なくありません。

例えば、「この日の試合に出場したい」、「進学が決まっていて、この日までに復帰したい」など、時間的リミットにお応えすることも大事です。

こうした「効率よく、適切に、早く治したい」という患者さんの気持ちに寄り添い、互いに話し合いながら最適な治療プランを提案していくのがスポーツ整形です。

来院される方々の多くは高校生から大学生であり、競技レベルが向上することで多少無理をされ、その結果、怪我・障害に至ってしまったケースが多いです。なかでも、サッカー、ラグビー、アメフト、バレー、バスケットなど、集団球技における靭帯損傷、半月板損傷が目立ちます。

スポーツが出来ない、日常生活に支障が生じるというだけでなく、場合によっては進学・進路に

影響することもあるでしょう。こうした時、私たちは患者さんに寄り添うことによって、落ち込みなどの精神面に対してもサポートし、前向きに治療に取り組んで頂けるようにチーム全力でナビゲートします。

京都駅前に構える当院は、通学・通勤に便利な場所にあり、リハビリ通院においても最適な環境にあります。今後とも、患者さんの「早く復帰したい」という気持ちを尊重し、日々医療の質向上に努めてまいります。





澤村 和秀

小見山 洋人

市丸 昌平

大塚 悟朗

原 佑輔

■ 整形外科 外来診療表

	月	火	水	木	金	土
	市丸 昌平	武田 隆司	小見山 洋人	市丸 昌平	外園	担当医 (第4土のみ二診体制)
午前診	澤村 和秀	澤井	生駒	山村	大塚 悟朗	第2 北條 (9:00~11:30) リウマチ外来
		原 佑輔 足の外科外来	原 佑輔			牧
			新井 スポーツ整形外科			
午後診	原 佑輔	小見山 洋人 膝・スポーツ整形外科	小見山 洋人	市丸 昌平 膝・スポーツ整形外科	大塚 悟朗 股関節外来	
	澤村 和秀	山村	澤村 和秀 (14:00~15:30) 脊椎脊髄外科外来			

役職 / 氏名	専門・得意分野	専門医・認定医	治療指針や患者さんとのかわり方
グループ専務理事 康生会 理事長 武田 隆司	整形外科一般	日本整形外科学会（整形外科専門医・運動器リハビリテーション医・スポーツ医）	患者さんに寄り添い、一人ひとりにあわせた最善の医療を提供することを心掛けています。
部長 大塚 悟朗	関節外科	日本整形外科学会整形外科専門医	ガイドラインやEBMIに沿った治療を心がけます。
副部長 小見山 洋人	膝・スポーツ整形外科	日本整形外科学会整形外科専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター	安静期間を短くし、早期の社会復帰・スポーツ復帰を目指すだけでなく、長期にわたる良好な経過も大事にします。
副部長 澤村 和秀	脊椎脊髄外科	日本整形外科学会（整形外科専門医・脊椎脊髄病医認定医）、日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医	腰や首の狭窄症、椎間板ヘルニア、圧迫骨折を中心に各種脊椎疾患に対し保存治療・手術治療を実施。手術は内視鏡、顕微鏡、神経モニター、3Dイメージを使用し、体に負担が少なく早期社会復帰が可能な低侵襲手術を主として行っています。
医長 原 佑輔	足の外科、 スポーツ整形外科	日本整形外科学会整形外科専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター	足の外科領域の外傷および障害を担当しております。正確な診断と適切な治療方針を、丁寧にご説明し実施することを心がけております。
医員 市丸 昌平	膝・スポーツ整形外科 骨折治療	日本整形外科学会整形外科専門医	患者さんや選手一人ひとりの状態を正確に評価し、それに応じて最適かつ標準的な治療法を実践しています。

# スポーツ愛好家からトップアスリートまで 患者さんの競技レベルに応じたスポーツリハビリテーションをご提供



リハビリテーション科 スタッフ

当科ではスポーツを行う患者さんを対象とし、リハビリテーションを提供しています。クラブ活動を行なう小学生～大学生はもちろん、スポーツ愛好家からトップアスリートまで、術前術後から競技復帰まで、最新の機器を用いて客観的に問題点を抽出し、患者さんの競技レベルに合わせた治療・訓練を実施しています。また競技復帰後の再発予防にも目を向けた指導を徹底しています。

患者さんだけでなく、指導者や家族の精神的ケアも含め、医学的視点から皆様をサポートしていきたいと考えています。



トレッドミル・エルゴメーター



床反力・重心動揺解析システム



イージーテック プラス

## ■レスパイト入院のご案内

在宅療養・介護で介助をされるご家族や関与する医療スタッフの皆様方が限界を超えることのないよう、レスパイト入院の対応に取り組んでいます。

年末年始・大型連休・夏季休暇等でのご利用もご案内しています。開業医の先生方のご協力のもと、地域の医療環境の向上に努めていきます。

右のご案内文をFAXさせていただいておりますので、ご利用の際は患者サポートセンター（TEL:075-361-1352）までご連絡いただけますよう、宜しくお願いします。

## レスパイト入院のご案内



(医院・診療所向け)

当院では院内の病床を利用しレスパイト入院の受入れをしております。  
レスパイト期間は 〇月〇日～〇月〇日  
(期間は相談内容に応じて対応させていただきます)

申込の流れ

1. 患者サポートセンターへ電話にて依頼ください。
  2. 診療情報提供書の事前FAXをお願いします。
- ※白昼や診療時間外など相談対応させていただきます。  
※日限によっては主治医の診察の旨い場合があります。  
※連休中ですので検査目的・治療目的の入院ではないことをご了承ください

年 月 日 現在	レスパイト受入れ床	受入れ空床状況
	○床	○床

お問い合わせ先

康生会 武田病院 患者サポートセンター  
TEL:(075)361-1352(直通)  
FAX:(075)361-1357(直通)

※ 受付時間 月～土 午前8時30分～午後7時



医療法人財団 康生会  
武田病院

**受付時間** 月曜日～金曜日 8:30～19:00 土曜日 8:30～17:00

※日曜日・祝日・祭日・年末年始はお休みさせていただいております。

患者  
サポート  
センター

医療機関専用

TEL (075) 361-1352 (直通)

FAX (075) 361-1337 (直通)

※患者サポートセンター受付時間外につきましては医事部(医療事務)にて対応させていただきます。

TEL (075) 361-1351 (代表) FAX (075) 361-1268 (医事部専用)